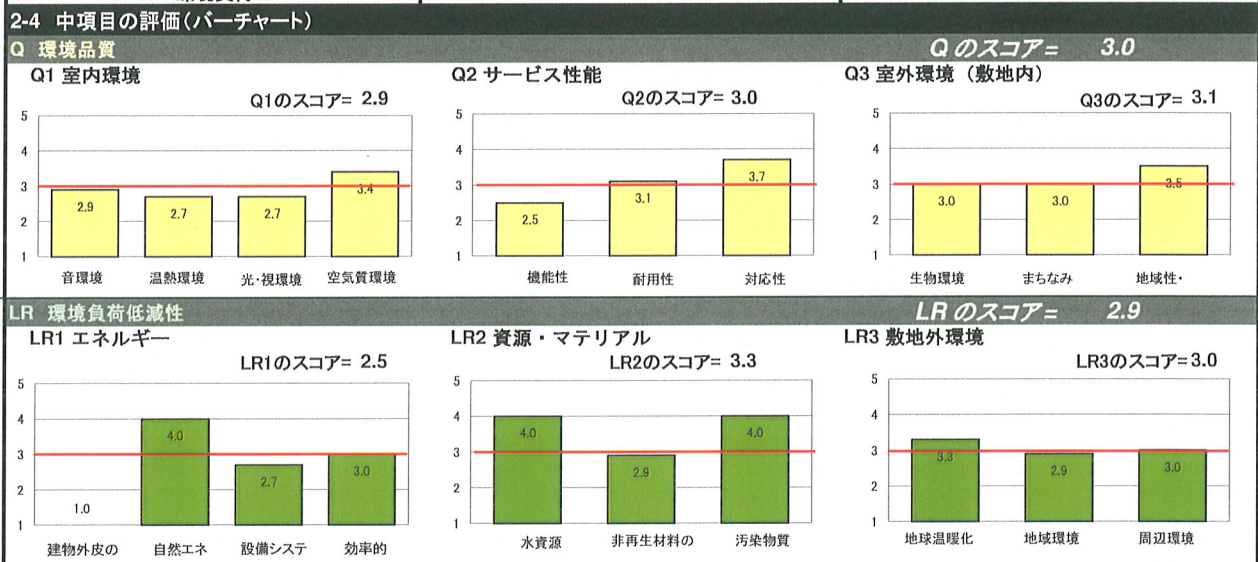
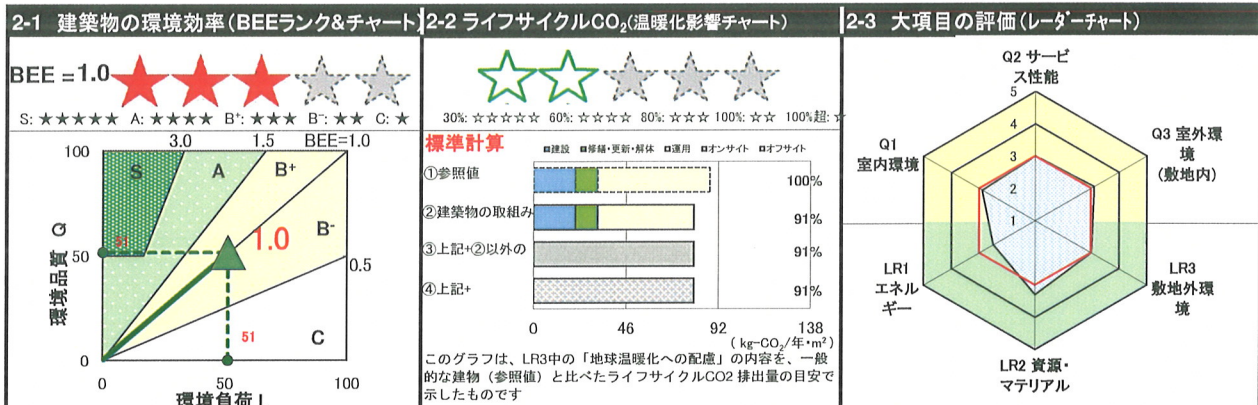


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鳥取県東部広域行政事務組合可処分処理施設建設工事	階数	地上5F 地下1F
建設地	鳥取県鳥取市河原町山手925番地他	構造	S造一部SRC造,RC造
用途地域	下水処理区域内	平均居住人員	XX 人
地域区分	5地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2019年8月2日
敷地面積	43,408 m ²	作成者	栗原寿樹矢
建築面積	5,793 m ²	確認日	2019年8月3日
延床面積	11,004 m ²	確認者	定森淳一



3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・雨水・雑排水等を利用することで水資源に配慮し、工場棟では、トップライトを多数設置することで、太陽光を照明として活用している。 また階高の他に空間の形状・自由さや荷重においても高いゆとり性を持って計画している為、		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
遮音性の高い建物となっている。	階高にゆとりのある建物となっている。	地域性への配慮、快適性の向上等に向けて取り組んでいる。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用。	節水型器具を採用している。	駐輪場・駐車場の設置などにより、交通負荷に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される